

令和3年度御殿場市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当市は、主食用水稲は825.97haであり、全耕作地面積1,289.53haに占める主食用水稲の割合が約64%となっており、麦・大豆・そばを中心に転作を推進している。

しかしながら、排水不良、気象条件等により、単収の低下を招いている。今後、主食用米の需要が減少していくことを考慮すると、転作をより推進していく必要があり、栽培方法の研究・改善等が課題となる。

また、農家の高齢化・担い手不足が問題となっており、農家戸数の減少が見られる。さらに、不作付地の拡大も進んでおり、対策を講じる必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

水田における農業所得の向上のため、麦、大豆、そばや露地野菜をはじめとする高収益作物の増加の取組を支援する。特にそばは、水稲との作業次期の重複がなく、市内で作付者も多いため重点的に推進する。

また、担い手への農地の集積を推進することで作業効率の向上を図っていく。

さらに、新規需要米である飼料用米や、地場産の日本酒製造に向けた酒米の生産への取組を推進し、多収品種の活用を進め、単収の増加を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当市では、米・食味分析鑑定コンクールにて金賞受賞や主食用米のブランド化等に取り組んでおり、今後も水稲に活用される見込みがあるが、水利用条件が悪い地域、荒廃農地化した地域を再生利用する際に、地域の担い手や農業法人、集落営農等と協議し、畑地化の可能性を検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

安全・安心な米という消費者ニーズを受け、御殿場農業協同組合をはじめとした関係機関の指導のもと安全・安心で売れる米作りを徹底し、より高品質・良食味となる米の栽培技術を普及させ、ブランド力の向上に努める。

また、地酒の製造、商品化に向け、市内企業と地域が進める日本酒の醸造、産地化への取組を推進するため、「酒米」の生産を奨励する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要の減少が見込まれる中、担い手の飼料用米の取組を推進していく。今後、主食用米からの転換の促進が課題となってくるため、3年以上の複数年契約を前提とすることで、安定供給体制の構築を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆においては、生産体制の確立を図り、単収の向上を図っていく。湿害等による単収の減少が問題となっているため、播種後のほ場排水管理等栽培方法の研究を進め、技術を向上させていくことで単収を向上させていく。また、担い手への農地の集積を推進し、生産性向上を図っていく。飼料作物においては、不作付地の有効活用及び地域の畜産農家への供給を図る。特殊な機械を使用することから栽培農家が限られ、栽培を維持・拡大することが課題となるため、不作付地の情報提供等を密に行い関係機関とのさらなる連携を図る。

(4) そば、なたね

生産体制の確立を図り、単収の向上を図っていく。湿害等による単収の減少が問題となっているため、この地域特有の気候に合わせた栽培方法の研究を進め、技術を向上させていくことで単収を向上させていく。また、担い手への農地の集積を推進し、生産性向上を図っていく。

(5) 高収益作物

主食用米の国内需要量が減少する中、露地野菜をはじめとする高収益作物等の作付取り組みを進め、水田における農業所得の向上を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積 等 (ha)
主食用米	825.97	825.97	825.97
備蓄米	0	0	0
飼料用米	1.97	1.99	2.02
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
麦	7.56	7.56	7.56
大豆	5.77	5.77	5.77
飼料作物	11.76	11.77	11.77
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	24.32	24.86	26.17
なたね	0	0	0
高収益作物	21.07	25.91	39.20
・野菜	19.53	25.07	38.36
・花き・花木	0	0	0
・果樹	1.54	0.85	0.85
・その他の高収益作物	0	0	0
畑地化	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆、そば （基幹作）	担い手の麦・大豆・ そばの作付助成	生産面積の増加 （申請面積 35.00ha）	（2年度）33.24ha	（3年度）35.00ha （4年度）37.00ha （5年度）39.00ha
2	麦、大豆、そば （二毛作）	担い手の麦・大豆・ そばの作付助成	現状維持 （申請面積 4.00ha）	（2年度）4.00ha	（3年度）4.00ha （4年度）4.00ha （5年度）4.00ha
3	永年性牧草、イタ リアングラス、青 刈りとうもろこ し、飼料用麦 （基幹作）	担い手の飼料作物作 付助成 （基幹作）	現状維持 （申請面積 11.76ha） （畜産農家との直接 取引割合 100%）	（2年度）11.76ha （畜産農家との直接取 引割合）100%	（3年度）11.76ha （畜産農家との直接取引 割合）100% （4年度）11.76ha （畜産農家との直接取引

					割合) 100% (5年度) 11.76ha (畜産農家との直接取引 割合) 100%
4	永年性牧草、イタリアングラス、青刈りとうもろこし、飼料用麦(二毛作)	担い手の飼料作物作物付助成(二毛作)	現状維持(申請面積 1.46ha)	(2年度) 1.42ha	(3年度) 1.43ha (4年度) 1.43ha (5年度) 1.43ha
5	飼料用米(多収品種を用いた栽培)(基幹作)	担い手の飼料用米作物付助成	生産面積の増加(申請面積 1.99ha)	(2年度) 1.97ha	(3年度) 1.99ha (4年度) 2.00ha (5年度) 2.02ha
6	そば(基幹作)	そばの作付助成(追加配分)	生産面積の増加(申請面積 24.86ha)	(2年度) 24.23ha	(3年度) 24.86ha (4年度) 25.51ha (5年度) 26.17ha
7	飼料用米	飼料用米の複数年契約作付取組助成	現状維持 (複数年契約取組面積・数量 1.97ha・13.3t) (申請面積・数量 19.7ha・13.3t)	(2年度) (複数年契約取組面積・数量) 1.97ha・13.1t (作付面積・数量) 1.97ha・13.1t	(3年度) (複数年契約取組面積・数量) 1.97ha・13.3t (作付面積・数量) 1.97ha・13.3t (4年度) (複数年契約取組面積・数量) 1.97ha・13.3t (作付面積・数量) 1.97ha・13.3t (5年度) (複数年契約取組面積・数量) 1.97ha・13.3t (作付面積・数量) 1.97ha・13.3t
8	麦、大豆、そば、飼料用作物、飼料用米(基幹作)	転換作物の拡大への取組	生産面積の増加(申請面積 48.75ha)	(2年度) 46.97ha	(3年度) 48.75ha (4年度) 50.76ha (5年度) 52.69ha
9	高収益作物(野菜、果樹、花卉・花木)その他、県設定に	高収益作物等の拡大への取組	生産面積の増加(申請面積 25.91ha)	(2年度) 21.07ha	(3年度) 25.91ha (4年度) 31.87ha (5年度) 39.20ha

	おける「高収益作物について」において認められたものの				
--	----------------------------	--	--	--	--

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり